

自然観察おもしろ講座

緑色に輝くチョウをさがそう！

川瀬美幸（柏市）

日 時：2023年6月17日（土）10時～12時 天気：晴れ

場 所：21世紀の森と広場 千駄堀池～野草園（松戸市）

参加者：一般27名（内子ども12名）、講師2名、スタッフ2名

今回の目的は、ずばり「ミドリシジミ」。

緑色に輝くチョウを探す、というなんともワクワクする講座名のおかげで、たくさんの昆虫キッズたちが集まりました。マイ捕虫網や捕虫ケースを持参してくる子どもも多く見られました。

イベントは小学生対象としていましたが、子どもの半分以上が幼児だったために、大きい子班と小さい子班で2班に分かれて観察を行いました。私は小さい子班を担当し、チョウに限らずクモや小さなバッタ、ザトウムシやダンゴムシなども捕まえて観察してみました。

さて、本命の「ミドリシジミ」は・・・？

当日は梅雨の晴間で30℃近く気温が上がり、暑すぎたのかチョウはあまり出てこない状況でしたが、野草園の木道に草陰で休むミドリシジミを発見できました。

実はこのミドリシジミは朝からこの場所で観察していた観察のプロ（毎日のように公園で撮影をしている方）に場所を教えていただきました。分かりにくい場所にいたミドリシジミを子ども達に優しく教えていただき感謝です。また、この場所ではハシリグモに捕獲され命を落としたミドリシジミをクモごと捕獲し、手にとって観察してみました。翅の裏表を観察すると、事前に講座のスライドで見たメスのミドリシジミのO型、という事が確認できました。O型の翅表は模様が無く全体が黒っぽいとの事でしたが、太陽の光を当ててみると全体がとキラキラと輝いて見えました。

小さな子どもたちは、小さな生きものを良く見つけてくれて、特にオオカマキリの幼体をたくさん発見しました。そんなカマキリのいる草むらで、網をもったお母さんが興奮気味に「捕まえたかもしれない！」と言っていたので確認すると、なんとミドリシジミが網の中に！！事前のスライドの画像やクモに捕獲されたチョウを見た事で、翅裏の模様を覚えていて網に入れる事が出来た、との事でした。捕まえたお母さんは初めて来た野草園の豊かな自然環境に驚かれ、虫好きなお子さんとまた来てみたい、と話していました。

ミドリシジミの活動時間は夕方5時近くとの事で、日中は比較的動きが少なくじっとしているので、見つけることができればゆっくり観察することができます。

とはいえ、やはり田島さんのスライド動画で見たクルクル回りながら追いかけてっこをする飛翔を一度は見てみたい！ 卍巴（まんじともえ）飛翔と言うそうです。

小さい子班は最後まで網を振り 虫を追いかけていました。なるべく木陰で活動するように誘導しましたが、虫を追いかけると夢中になってしまい、暑さも忘れてしまいがちです。暑い時期の観察会は、歩くペースや途中休憩などにも配慮しながら誘導していきたいです。



野草園の木道でチョウ・クモ探し

これはミドリシジミ♀ 光って見える

千駄堀池の広場で楽しく虫採り